

2019年3月28日
#18-49

次世代を担う子ども達を応援する保護者を支援
《「ブレンディ®」スティック》「勝て打て！勝てオレ！」
第49回日本少年野球春季全国大会を特別協賛
2019年3月26日（火）より埼玉県立大宮公園野球場、他会場にて開催

味の素AGF株式会社（以下、AGF 代表取締役社長：品田 英明）は、2019年3月26日（火）から2019年3月30日（土）まで開催される、公益財団法人日本少年野球連盟（以下、ボーイズリーグ）※1主催の第49回日本少年野球春季全国大会を特別協賛します。当大会への特別協賛は今年で3年目となり、次世代を担う子ども達を熱心に応援する保護者を《「ブレンディ®」スティック》で支援します。なお、第1回戦において最も熱い応援を繰り広げた応援団3チームを「AGFベストスタンド賞」として表彰し、賞状、トロフィーおよび「ブレンディ®」スティック商品1年分を贈呈します。

※1 硬式野球を愛好する少年に正しい野球のあり方を指導し、野球を通じて次代を担う少年の健全な育成を図ることを目的として、1970年に創設された組織。当初は28チームの集団だったが、現在は全国41支部、小・中学生の部を合わせて726チームに発展。

本大会初日の26日（火）に埼玉県立大宮公園野球場で行われた開会式において協賛イベントを実施しました。

イベントでは、「勝て打て！勝てオレ！」のローガンのもと、次世代を担う子ども達を熱心に応援する保護者を支援することを目的に、来場者に応援グッズとしてスティックバルーンやチームフラッグを提供しました。



第49回日本少年野球春季全国大会開会式にて
公益財団法人日本少年野球連盟 中尾副会長(右)、
味の素AGF株式会社社長 品田

ボーイズリーグ各ブロックでの地区大会は年間を通じて230大会にも及びますが、保護者は選手の応援だけでなく、チームの支援活動も行っています。中でも、指導者や保護者向けの飲料の調達、大事な支援活動の一つですが、“大量の飲料を練習会場や試合会場へ運び込むのが重い”、“それぞれの嗜好に合わせてコーヒー、紅茶、麦茶など多品種を揃えると事前の準備に時間や費用がかかる”、“ポットやジャグの準備、使用後の後片付けが気になる”といった課題があります※2。

《「ブレンディ®」スティック》は、軽量で場所をとらず、お湯を注ぐだけで手軽に本格的なコーヒーや紅茶などが作れます。加えて夏季には冷たい水にも溶けるアイスシリーズ（期間限定商品）が発売され、ラインナップが豊富です。屋外でも紙コップさえあればそれぞれが好きな飲み物を作って飲むことができるため、飲料調達における課題を解決します。

※2 AGF調べ（参考資料参照）

報道内容に関するお問合せ先

広報部（担当 櫻井・藤井・天川）Tel 03-5365-8600 Fax 03-5365-8580 E-mail pr@agf.co.jp

■商品情報

《「ブレンディ®」スティック》シリーズ

スティック1本で本格的な味わいを毎日手軽にたっぷりマグカップサイズで楽しめます。



参考資料

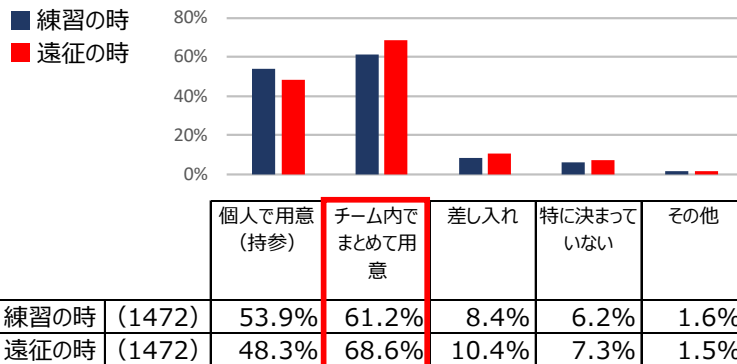
「練習・遠征時の飲料に関するアンケート」詳細

AGFは、2019年2月～3月にかけて、ボーイズリーグ東日本ブロックの保護者1,472人を対象に、「練習・遠征時の飲料アンケート」を実施しました。

◆指導者や保護者などの大人向け飲料は「チーム内でまとめて用意」！

飲料の用意は練習、遠征ともに「チーム内でまとめて用意」が最も多く6割以上、次いで「個人で用意」は約5割になります。

指導者や保護者など大人向けの飲み物はどのように用意していますか。練習の時、遠征の時それぞれについて当てはまるものをすべてお知らせください (MA)。



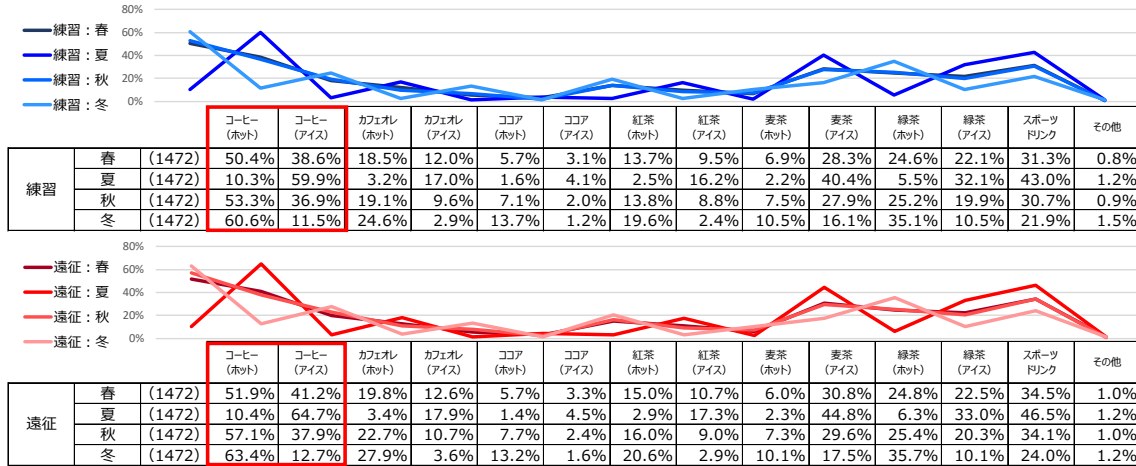
【基数】 対象者全員

◆時期を問わず「コーヒー」を飲みながら応援！

飲料の種類では、練習、遠征ともに夏を除き「ホットコーヒー」が、夏は「アイスコーヒー」が最も飲まれており、どの季節においてもコーヒー合計は7割を超えます。

まとめて用意する大人（指導者や保護者）の飲み物の種類はどれですか。

練習の時、遠征の時それぞれ季節ごとに、あてはまるものをすべてお知らせください（MA）。

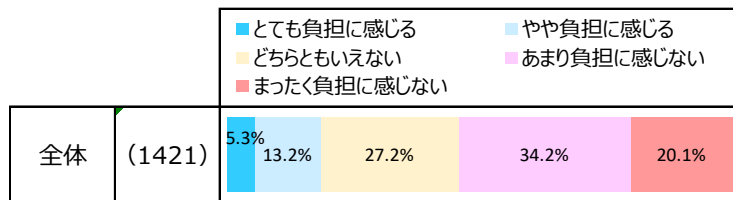


【基数】まとめて用意する人

◆チーム内でまとめて用意することに約2割が負担と感じている

まとめて用意することには半数が「負担を感じない」と答えましたが、約2割の保護者は負担を感じています。

大人（指導者や保護者）の飲み物をチーム内でまとめて用意することに対して、どの程度負担に感じますか（SA）。

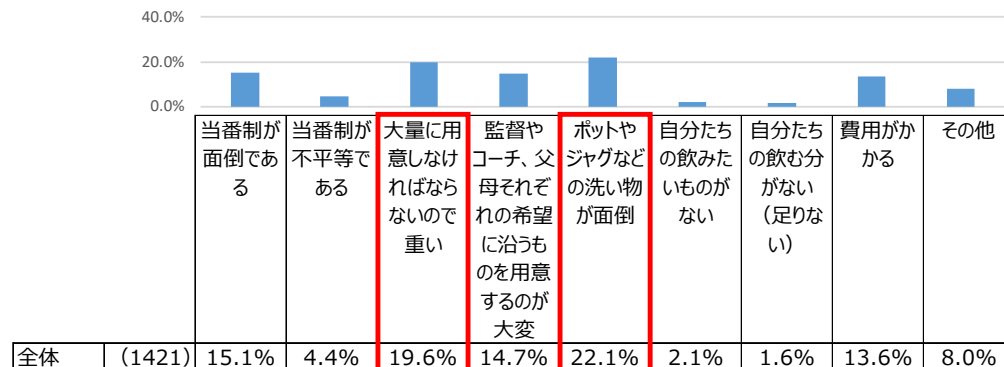


【基数】対象者全員

◆大量の飲料の用意は重く、洗い物も大変！

まとめて用意することに対する負担・不満として、およそ2割の保護者が“大量に用意しなければならぬので重い” “ポットやジャグなどの洗い物が面倒”と感じています。

あなたが人（指導者や保護者）の飲み物をチーム内でまとめて用意することについて、負担に感じていることや不満に思っていることを次の中からすべてお知らせください。※現在はチーム内でまとめて用意していない方も、今後用意することになった場合どのように感じるか、お答えください（MA）。



【基数】負担に思う人

また、指導者への用意には負担を感じないという意見が多い一方、“大量なので重い”“それぞれの希望に沿うものを用意するのが大変”“洗い物が面倒”という意見も目立ちました。

あなたが人（指導者や保護者）の飲み物をチーム内でまとめて用意することについて、負担に感じていることや不満に思っていることをお書きください。※現在はチーム内でまとめて用意していない方も、今後用意することになった場合どのように感じるか、お答えください（FA）。

負担・不満を感じる理由
<p>《ポットやジャグなどの洗い物が面倒》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 準備や片付けが面倒です。 ・ 使い捨てコップ（紙）などを全員使用してもらう。洗い物が大変。 ・ 個人で用意することいいと思う ・ 冬に冷たい水でコップを洗うこと <p>《大量に用意しなければならないので重い》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジャグや大量の飲み物、氷を置いておくスペースの確保が難しい。 ・ 本年度、自分が用意する立場だったので、重い荷物等大変な時がありました。夏のアイスコーヒー、すぐなくなるので大変でした。 ・ 遠征など移動の時、荷物が多くなる。自分で用意して飲みたいときに飲みたいものを飲んだ方がいいと思う。 <p>《当番制が面倒である》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土・日・祝日が休みでない家庭が現在は多くなってきている中で、当番という圧迫、休めない、代わってもらえない、精神的にも負担になる。中にはできない方もいると思う。 ・ 在庫状況が常に参加していないと把握できないので、自分が当番の時に足りなかったらと思うと自分で用意していつおこうかなと思う時がある ・ 毎週取り扱う人が違うので、在庫管理の連絡が大変なこと <p>《監督やコーチ、父母それぞれの希望に沿うものを用意するのが大変》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲み物の好みやアレルギーなども考慮すると、各人用意の方が安心だと思う。もし足りない時などは大人同士で融通しあい、結果その関係性が子供達への見本になると考えます。 <p>《その他 負担・不満が無い》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者に対して、息子が世話になり、感謝の気持ちもあるので負担に思わないです。 ・ 保護者の飲み物は各自準備なので負担はない。無料で指導くださっている指導者の方に飲み物を用意するのは負担ではない。 ・ 指導者の方々には朝早くから夜遅くまでお世話になっていますので、あまり負担には感じてません。

◆ 《「ブレンディ®」スティック》は応援中にも飲用されている！

飲む場所を問わず、《「ブレンディ®」スティック》の飲用頻度は高いようです。特に応援中の飲用経験は約8割と高く、週に1本以上飲用する保護者が4割以上います。

《「ブレンディ®」スティック》の飲用頻度について伺います。

あなたご自身が購入して飲用する頻度に最もあてはまるものを、それぞれひとつだけをお知らせください（SA）。

	人数	飲用頻度										週に1本以上・計	月に1本以上・計	1年に1本以上・計	飲用経験あり・計			
		1日に1本以上	週に2〜3本	月に2〜3本	2〜3ヶ月に1本	1年に1本	買って飲んだことがない	週に4〜5本	週に1本	月に1本	半年に1本					それ以下		
家庭	(1418)	15.0%	8.1%	13.1%	8.6%	8.3%	5.4%	3.6%	9.4%	20.2%								
職場	(1308)	11.5%	7.5%	9.3%	5.9%	6.4%	3.1%	1.7%	11.3%	39.0%								
応援中	(1340)	16.6%	5.1%	12.2%	8.8%	10.4%	6.4%	2.3%	8.9%	23.2%								

【基数】対象者全員